

編集後記

本年は、昨年別府史談会創立三十周年記念誌『別府の風土と人のあゆみ』を発行した関係で、昨年の分と併せて『別府史談』第三十二・三十一合併号として予定通りに発行できました。

今号では、十人の会員・執筆者が論説等を寄稿され、そのうち論説は十編、資料紹介が一編であります。

なお、寄稿（論説）については、合併号ということから、一人二編の寄稿も可といたしました。

論説を総体的に見て、別府市には埋もれる題材が沢山あり別府史談会の前途洋洋であると感じました。一時は原稿が集まらず、どうなる事かと危惧しましたが心配無用でありました。

講演会講演要旨・資料は「近世大分の風呂と温泉」、「大分の埋蔵文化財」、「別府市所在の古墳について」鷹塚古墳の発掘調査から「の三編を講師の先生から寄稿して戴きました。

史跡探訪レポート・史跡探訪感想文につきましては、多数の方が寄稿され、会員・執筆者の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

今号から、論説等の最終行の余白部分を有効的に活用するため「埋め草」として過去に実施された県市内外の史跡探訪や講演会等のスナップ写真を挿入いたしました。

次回『別府史談』三十二号の原稿締切は十月末です。会員の皆さんの投稿をお待ちしております。

（会誌担当）

別府史談

第三十・三十一合併号

(非売品)

発行人 別府史談会

会長 友永 植

☎〇九七七―七二一〇四四八

編集 別府史談会事務局(会誌担当)

連絡先 伊藤 貞行

別府市馬場四組一

☎〇九七七―二一六三九一

発行年月 平成三十年三月

印刷所

別府市亀川東町四番二〇号

株式会社クリエイツ

☎〇九七七―六六一三六七六